

新規学卒者の離職状況（平成 24 年 3 月卒業者の状況）

卒業後 3 年以内の離職率は**高校 40.0%、大学 32.3%**

平成 27 年 11 月 進路情報研究センター ライセンスアカデミー

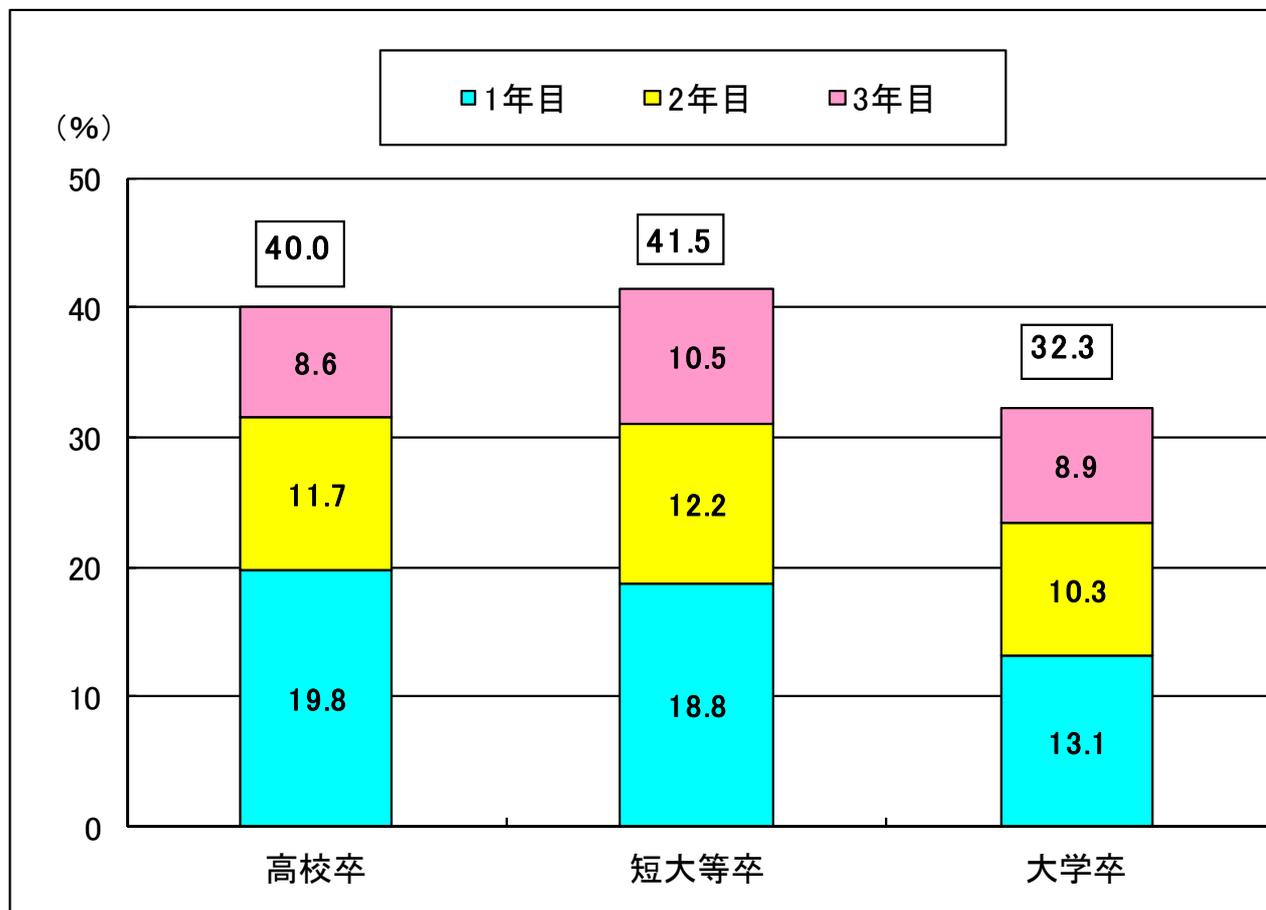
厚生労働省は、10 月 30 日、平成 24 年 3 月に卒業した新規学卒者の卒業後 3 年以内の離職状況について取りまとめ発表した。

それによると、中学卒 65.3%（前年比+0.5 ポイント）、高校卒 40.0%（同+0.4 ポイント）、短大等卒 41.5%（同+0.3 ポイント）、大学卒 32.3%（同▲0.1 ポイント）と、大学卒以外は前年より増加している。事業所規模別では、29 人以下が 50%を超えているのに対し、1,000 人以上では大学卒 22.8%、高校卒 21.6%と低くなっている。産業別では、大学卒、高校卒とも、「宿泊業・飲食サービス業」が最も高くなっている（分類されない産業の「その他」を除く）。

【資料出所及び離職率の集計の考え方】

事業所からハローワークに対して、雇用保険の加入届が提出された新規被保険者資格取得者の生年月日、資格取得加入日等、資格取得理由から学歴ごとに新規学校卒業者と推定される就職者を算出し、更にその離職日から離職者数・離職率を算出している。

<平成 24 年新規学校卒業者の離職率>（単位は%）



<平成 24年新規学校卒業者の事業所規模別卒業3年後の離職率>

※前年比増減の「P」はポイントを表す。

	高校卒		大学卒	
	離職率	前年比増減	離職率	前年比増減
1,000人以上	21.6%	+1.6P	22.8%	±0.0P
500～999人	29.5%	+1.3P	29.3%	+0.6P
100～499人	37.0%	+0.2P	32.2%	+0.1P
30～99人	47.3%	+0.1P	39.0%	▲0.6P
5～29人	57.8%	▲0.4P	51.5%	+0.1P
5人未満	68.4%	+0.8P	59.6%	▲0.8P
規模合計	40.0%	+0.4P	32.3%	▲0.1P

<産業別卒業後3年以内離職率のうち離職率の高い上位5産業> ()内は前年比増減

※分類されない産業の「その他」を除く。

【高校】

- ① 宿泊業・飲食サービス業 66.2% (▲0.7P)
- ② 生活関連サービス業・娯楽業 61.1% (▲1.5P)
- ③ 教育・学習支援業 59.8% (▲5.9P)
- ④ 小売業 51.9% (▲1.4P)
- ⑤ 建設業 50.0% (+1.5P)

【大学】

- ① 宿泊業・飲食サービス業 53.2% (+0.9P)
- ② 生活関連サービス業・娯楽業 48.2% (▲0.4P)
- ③ 教育・学習支援業 47.6% (▲0.9P)
- ④ サービス業 39.1% (+0.9P)
- ⑤ 小売業 38.5% (▲0.9P)

<産業別卒業後3年以内離職率のうち離職率> (単位は%。網掛けは平均より高いもの)

産業分類	高校卒	大学卒
調査産業計	40.0	32.3
鉱業、採石業、砂利採取業	33.7	10.4
建設業	50.0	30.1
製造業	27.6	18.6
電気・ガス・熱供給・水道業	5.7	6.9
情報通信業	43.0	24.5
運輸業、郵便業	34.3	28.2
卸売業	44.6	28.5
小売業	51.9	38.5
金融・保険業	24.8	21.4
不動産業、物品賃貸業	48.1	37.8
学術研究、専門・技術サービス業	42.5	33.7
宿泊業、飲食サービス業	66.2	53.2
生活関連サービス業、娯楽業	61.1	48.2
教育、学習支援業	59.8	47.6
医療、福祉	47.6	38.0
複合サービス事業	30.9	21.6
サービス業(他に分類されないもの)	46.5	39.1
その他	65.5	66.6